



# 田 秋 身 障 身

発行人／社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長 細 矢 治 助

事務局／秋田市旭北栄町 1-5 TEL (018)864-2780 FAX (018)864-2781 平成 15 年 1 月 1 日発行

仲間から仲間へ！

障害を生かし、共に育つ社会へ！！

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会  
会 長 細 矢 治 助

県下に滞在する、関係者皆様

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、ご一同様のご多幸を心からお祈り申し上げますと共に、日頃の身障福祉向上に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、皆様、送った一年間如何がお過ごしになりましたか？。私は昨年の今頃年頭の挨拶を書きながら、遅くとも来年の年頭は、又、世の中全体が明るさを取り戻し、活気に満ちた状態になるであろうと期待を持っておりました。しかし現実には、その期待とは裏腹に大変厳しく、なかなか暗く長いトンネルを抜けられず何時どの様な形の出口が見えて来るか見通しも立たない状況の中で、新年を迎えられたわけですね。しかし、冷静に判断しますと、現状は、

極端であるにしても、むしろ今の様な状態が普通であろうと考え直し、こういう時であれば有る程、皆で一致協力し、仲間から仲間へ、互いの持っている能力と知恵を分け合い、この苦境を乗り越え、一人一人の小さな社会を、健康・障害者ともに、みんなが生き育つ大きな社会に進展させ豊かな、活気に満ち溢れた世の中を創って頂きたいと念じます。

お陰様で、私どもの協会の業績も、県及び市町村自治体、それに、関係諸団体のご指導と、県下在住の皆様方の多大なご協力により、順調な足取りで終ろうとして居ります事につきまして、ここに改めて心から敬意と感謝申し上げますと共に、今後、県及び各市町村行政及び単協会組織体や県福祉協会、共々に飛躍されることを、強く希望致します。

私は思うに、今時の世の中はどんな些細な出来事でも、私共の眼や耳にいつ早く届く情報の時代です。

それが本物か選択に困る時さえ有るものの、やはり、本物の思考を求め、それを大事にしなければ成らないだろうと思われてなりません。

従って、来る十五年度は、直面する主要な課題や会員要望に答える為積極的動き、その解決策を念頭に努め、厳しい社会構造下にあつて、今こそ役員一同肝に命じ、先輩諸氏の足跡を尊重し、且つ、認識や視点の改めるべき事は改め、障害者と言えども障害を生かした協会運営と、お互いの幸を求めてがんばる所存です。

終りに、皆様には、地域社会の人々と関わる中、その善意と、家族の温かさに感謝

し「生きる事とはなんであるか」等を考え、生活姿勢や福祉の原点を探り、地域や仲間意識を大切にし、自らの健康管理を保たれ、地域の発展とご一同様の幸をご祈念申し上げます。  
平成十五年一月一日



新年明けましておめでとうございます  
本年もよろしくお願い致します

- 副会長 渡部昭一 (河辺町)
- 副会長 尾張甲子蔵 (横手市)
- 副会長 菅原龍典 (比内町)
- 理事 小森正直 (藤里町)
- 理事 小野晋作 (秋田市)
- 理事 宮崎恒雄 (湯沢市)
- 理事 藤井宏一 (田沢湖町)
- 理事 藤原良治 (秋田市)
- 理事 小森一昭 (秋田市)
- 理事 嘉藤アツヨ (秋田市)
- 理事 藤原良治 (秋田市)
- 理事 高橋 豊 (秋田市)
- 理事 佐藤義則 (秋田市)
- 理事 伊藤二雄 (秋田市)
- 理事 臼井忠治 (秋田市)
- 理事 三沢栄治 (合川町)

平成14年度の理事・評議員の合同研修会を11月25日(月)・26日(火)の2日間、男鹿市北浦のセイコーランドホテルで27名が参加し開催しました。その際、6名の方々に市・村・郡身障協会の活動状況を発表してもらいました。その概要を次に記載しますので、今後の市・町・村身障協会の活動の参考にさせていただければ幸いです。

鹿角市の現状

組織 旧町村単位の四地区の連合体会費 地区協会に入会と同時に市協会に加入となる。

一地区が年額千二百円、残り三地区が年額千円。

市協会では、手帳所持者の50%という基準で一人五十円と県協会の負担金百五十円、合わせて二百円を納入してもらっている。

補助金 市及び市社協から四十五万円の補助金があるが、そのうち三十五万円は各地区に交付している。

会員数 手帳所持者は、千八百名いるが、会員は六百名なので、加入率三十三%となっている。死亡者が新規加入者より多く、会員は年々減少している。

事務局体制 市協会は市社協に事務局があり、四地区は独自に事務局を持っている。

事業 地区間の交流を目的に施設見学、講演会を実施(市のバスを利用、入館料等は個人負担、弁当代等は協会負担)。

スポーツ活動としてグラウンドゴルフ、ボーリング等年五回程度実施、参加者は五十名位。鹿角市身障福祉大会、広報紙の発行はしていない。各地区では予算・決算の会議のほか、年一〜二回研修会や懇親会を実施したり、花壇作りをしているところもある。

加入促進 他の市では、手帳交付の際、福祉事務所の協力を得て、加入促進のチラシや文書を手渡しているようだが、当市は手帳交付は郵送なので直接説明ができず、会員加入がなかなか進まない。又、内部障害の方は独自の組織があり、そ

らに加入するので、当会には加入しないのではないかと考えている。

秋田市の現状

組織 学区制(三十学区)、他に青年部、ワークセンター、五障害者団体の三十七区会で構成されている。三十七区会の代表が理事となり、会長一名、副会長三名を選出し会を運営している。

会員 手帳所持者は一万四百人いるが、会員は千二百十四名で加入率は、十三%となっている。

事務局 市老人福祉センターに設置し、専従職員一名が配置されている。

事業 総会(各地区から代議員五名出席、総数で百名位参加)。福祉大会(市と共催、二百名位参加)。ゲートボール大会(市と共催、十チーム参加、前年より減少している)。合同レクリエーション(各地区で実施しているが、会員の少ない地区が合同で実施、会費制で三十五名程度出席)。

ふれ合いのつどい(会費制で忘年会など実施、七十名程度出席)。機関紙の発行年二回。地域奉仕活動(大森山、千秋公園等の清掃活動)。

市からの委託事業 卓球教室(年十二回実施、予算十五万七千円)。手話奉仕員養成講座(前・後期に分けて二十回実施、予算七十一万五千円)。

予算(主な収入のみ) 会費六十万円(一人五百円)、市補助金四十四万八千円(すべて各地区の活動費)、市社協助成金七万円、県身障協会事業費収入二十六万六千円、基金戻し入れ四十万円(基金は三百万円) 収益事業二十万円(自販機売上収入) 日身連還元金二十万円。

委員会の設置 事業推進委員会、財政検討委員会、会員拡大委員会を設置している。本荘市の事業 障害者の方々に喜んでもらえるよう毎月各種の行事を実施している。事業 ゲートボール大会、日帰り旅行、総会、大会、ペタンク大会、日帰り旅行、総会、忘年会等。助成金 市から八万円、市社協から七万円、県協会からの委託事業費三万円となっているが、会費が集まらない、助成金が足りないことが悩みである。

湯沢市の現状

会員 現在会員数は五百二十人で、手帳所持者千三百九十五人なので、加入率三十七%。年々会員は減少している。

加入促進 新規手帳交付者に対して福祉事務所の窓口で会員の入会申込書を渡しているが、なかなか入会してもらえない。

事業 会報「ともしび」を年二回発行(一回は会員のみ、新年号は市の全世帯に配布)。ほかに市長委託相談員の設置(平成元年四月から市単独事業として身障相談員を学区単位に十名ほど配置し、毎週水曜日を相談日とし、相談者がいなければ勉強会にしている)。

山本郡身体障害者連合会の活動状況

会員 連合会の会員は、七町村二千六百十五名、手帳所持者数二千五百四十四名なので、加入率八十五%となっている。

活動状況 総会(海の家・山の家利用)、障害者福祉研修大会(表彰・講演等七町村の輪番で開催)、郡協会としてボランティア活動の活性化に努めている。

大潟村の現状

会員 手帳所持者は八十名いるが、会員は五十名なので加入率六十二%となっている。

事業 総会、運動会、一泊研修、春・秋の清掃活動などで、年間事業費は五十万円程度である。

厚生労働大臣表彰 “おめでと”

本年度の障害者自立更生等大臣表彰が十二月四日東京都内で行われ、本県からは河辺町の渡部正一(72)さんが更生援護功労部門で、鷹巣町の岸野新作(63)さんが自立更生部門で表彰されました。受賞本当におめでとうございました。これからの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

“よさこいピック高知”で本県勢大活躍

十一月九日から十一日までの三日間、全国から三千三百人の選手が出場し、「見つけて夢一活かして力！」をスローガンに、第二回全国障害者スポーツ大会「よさこいピック高知」が高知県春野陸上競技場を主会場に華やかに開催されました。本県から役員二十三名、選手二十七名が参加し、五競技に出場し自己ベストを目指して奮闘し、金メダル七個、銀メダル十三個、銅メダル四個の好成績を挙げました。身体障害者の部門では、十一名の方が出場し、金メダル三個、銀メダル十個、銅メダル一個を獲得し、三日間の熱戦が終了しました。

秋田県身体障害者 相談員連絡協議会発足

秋田県身体障害者相談員連絡協議会設立総会が、各支部の代表ら二十九人が出席し十一月十八日、秋田市の県社会福祉会館で開催され、相談員の資質の向上や相談事業の充実を図ることを盛り込んだ会則を決め、会長に細矢治助氏(由利郡)を選び発足しました。県連絡協議会は相談員二百三十五人で構成し、市・郡単位で十六の支部も設置されました。会長以外の役員

- 副会長 渡部昭一(南秋田・河辺郡) 小野昌一郎(秋田市) 事務局長 川田直政(秋田市) 監事 小野晋作(秋田市) 袴田一男(山本郡)